

広報

Kouhou Wakasa

わかしほ

2025年

3月号

No.240

[特集]

- ①イノベーションが
マナビを変える
- ②ドキ!DOKI! 情報局
- ③情報BOX



特集

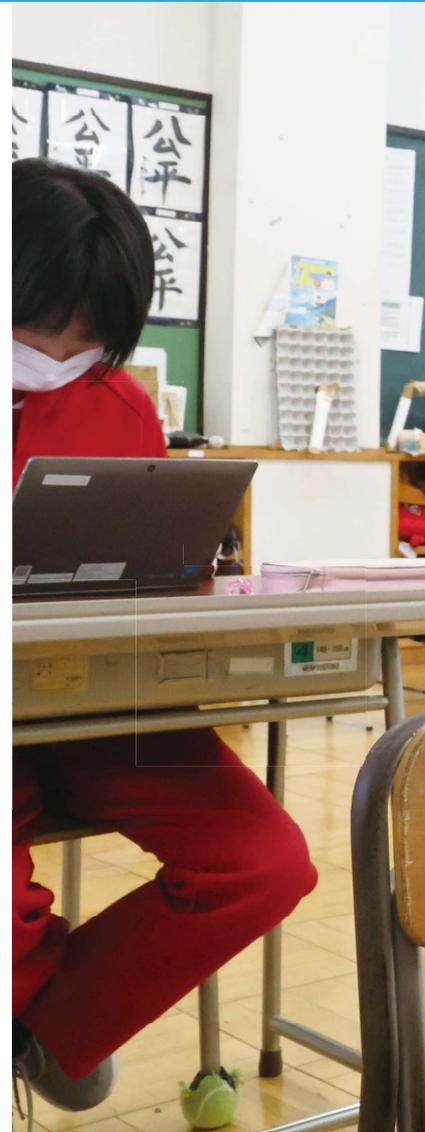
イノベーションが マナビを変える。

超デジタル社会を生き抜くための、教育現場の今。

最新技術を用いたより良い教育の提供のため、町内の全小中学校では2020年からGIGAスクール構想※により1人1台タブレット端末を支給して学校教育に活用しています。従来の実践的な教育とICTを最適に組み合わせ、主体的かつ協働的で深い学びの実現を目指して取り組んでいます。

導入から5年が経過し、学校教育はどう変わったのか、超デジタル社会を生き抜くための、教育現場の今に迫ります。

※「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All（全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉）」という意味。



ICTで、変わる教育 これが令和の「スタンダード」

近年のデジタル技術の目覚ましい進歩は、私たちの生活をあらゆる面から、より便利で豊かなものに変化させてきました。

変化の波は、教育現場にも影響を与えました。国のGIGAスクール構想も相まって、学校教育でのICTの活用は、今や令和の「スタンダード」となっています。

ICT活用は教育現場に次のような変化をもたらしました。

1. 授業の多様化と個別化

デジタル教科書や学習支援サービスの活用により、教科書内の問題を瞬時に画面に映したり、教科書の内容に関連する動画を視聴できたりと、黒板とノートだけでは難しかった、さまざまな形の授業が可能となりました。



2. 遠隔授業とオンライン学習の普及

ビデオ会議ツールを使ったオンライン授業や、動画投稿プラットフォームを通じた学習動画の配信などで、児童がいつでも学習できる環境が整備されました。





3. 協働学習の促進

共同編集ツールを使い、グループディスカッションや共同作業を効率的に行うなど、教師と児童、児童同士がインターネット上で協力して学ぶことが可能になりました。



4. データ活用による学習支援

ICTの導入により、児童の学習データ（進捗、理解度など）を可視化し、詳細な分析が可能になりました。これにより児童一人ひとりのペースや理解度に合わせた指導が可能になりました。



5. ITリテラシーの向上

情報を調べて発信するスキルが身に付きます。小学生からICTに触れることにより、コンピュータリテラシー（コンピュータを正しく操作できる能力）や、メディアリテラシー（情報媒体から得られる情報の中から、正しい情報を精査できる能力）などの、ITリテラシーを育むことにも繋がります。



6. 教員の負担軽減

教師は児童の学習進捗や理解度をリアルタイムで把握しやすくなりました。また、教材作成や評価、連絡事項の共有など、教員の業務負担を軽減するツールも増えています。教員の事務負担を軽減することで、教員が児童に向き合う時間を確保することにも繋がっています。



町内の小中学校での取り組み

最善の手法を選択する力を（鳥羽小学校）

デジタル・アナログのどちらのツールも併用し、個別最適な学びの実現を目指しています。

テスト前の知識定着場面では、教科書やプリントを用いて復習する従来の手法に加え、タブレットで学習支援システムの問題を解くなど、学習方法を選択できるようにしています。

また、総合学習の発表の場面では、発表の特性を考慮したうえで、パワーポイント、ポスター、リフレットなど適した方法を選択させるようにしています。

その他、ホワイトボード機能を用いた児童の共同作業や、Microsoft Clipchamp を活用した動画編集作業などに取り組み、多様な選択肢の中から自ら考え、最善の手法を選択する能力を身に着けることに繋がっています。



学びを深める一助として（三宅小学校）

学習活動端末支援システム「SKYMENU」を活用した授業を行っています。カメラで撮影した画像をすぐに貼り付けし、手軽に自分だけのノートを作成できる「発表ノート機能」や、グループ内で発表ノートを共有し、他者と意見交換しながら自身の考えをまとめられる「グループワーク機能」などにより、学びを深める一助となっています。

また、解説動画やドリルなど多様なコンテンツを備えたICT教材「ニューコース学習システム」を導入し、児童は自らの理解度に応じた学習を行うことができます。

さらに、福井新聞社が提供する学校向けデジタル新聞「ふくe刊」を購読して読む機会を与えることで、新聞を読む習慣が身につくとともに、町内や県内の出来事に関心を持つことにも繋がります。

学習以外の活用としては、3年生以上の児童は、タブレットを持ち帰り、自宅で次の日の時間割りや家庭学習を確認することができます。



より深い学びの実現のために（三方中学校）

地図やグラフなどの資料を画面に表示したり、実験の説明動画を見るなど、教科の特性に合わせ、デジタル教科書を効果的に活用しながらより深い学びを目指しています。

また、探究学習の発表資料作成の際に、Teams内でデータを共有することで、複数人で同時に編集作業を行うことができます。その他、学習支援プラットフォームの機能を活用して互いの考えを共有したり、授業の振り返りを蓄積するなど、重要な学習ツールとして活用しています。



Interview

ICT を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を。

若狭町立 三宅小学校 校長

おおはざま あゆみ

大峽 歩 先生



タブレットは、今や文房具のひとつであり、 当たり前の存在

「学校に来て、児童がタブレットを開かない日は無いですね」そう話すのは、三宅小学校の大峽校長先生。

三宅小学校では、学校生活のさまざまな場面でタブレットを活用しており、児童たちにとって、今やタブレットは特別なものではなく、日常的なツールとなっているようです。

「最初は、授業と関係ない使い方をする児童もいましたが、文房具の一つとして定着してくると次第になりました。タブレットの導入によって授業中の児童の姿に変化があったと感じています。従来の授業では、発言できる児童に限られ、自分の意見を伝えにくいことがありました。しかし、タブレットを使えば、自分の考えを簡単にクラスメートと共有できるため、児童が積極的に授業に参加するようになりました」

児童の心と体の異変にいち早く気付けるように

三宅小学校では、毎朝の健康観察もタブレットで行っています。児童が心と体の状態をタブレットに入力することで、教員は即座に状況を把握することができます。

「タブレットを活用することで、児童が直接話にくい悩みを抱えている場合でも、『心の声』にいち早く気づき、適切なサポートを行うことができます。このように、学習だけでなく、心身のケアにもタブレットは役に立っています」

目指すのは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」

学校教育は大きな変革期にあると、大峽先生は話します。

「昨今の学校教育は『教える』から『学ぶ』へと変化しています。以前は教員が黒板の前で行う一斉指導の形態が主流でしたが、それでは児童一人ひとりの理解度や習熟度に応じた教育が難しいのです。そこで、ICTの活用によって、「個別最適な学び（一人ひとりに合った学び）」を実現するとともに、児童だけでなく多様な他者と関わる「協働的な学び」を充実させていくことが重要です。ICT活用はあくまで手段であり、目的ではありません。

現代の学校教育においてICTの活用は益々重要になっていますが、小学校での教育の基本は、『見て・触れて・感じる』ことだと私は考えています。そうやって得た学びを深めたり、成果を発信するツールとしてのタブレットの活用が、より良い学びの実現につながっていくのではないのでしょうか。

以前は、どの科目も満遍なく点数をとることが求められていましたが、これからの時代はそうではありません。児童一人ひとりが自分の好きな分野を追求し、個性を伸ばしていくことが変化の激しい時代を生き抜くために大切です。教育におけるICT活用の重要性は今後さらに高まり、学びの形も進化していくでしょう」



Darea パレア若狭 音楽ホール

海上自衛隊舞鶴音楽隊演奏会 ～佐久間勉艇長を偲んで～



■舞鶴音楽隊は、全国に6つある海上自衛隊音楽隊の中で唯一、日本海側の京都府舞鶴市に所在し、北陸・東海・近畿・中国地方に渡る広い範囲で活動しております。

この度、海上自衛隊舞鶴音楽隊による、演奏会を開催します。舞鶴音楽隊による優雅で壮大な演奏をぜひお聴きください。

開催日／ **4月15日(火)**

時間／開演 15:30 開場 15:00

料金／無料・全席指定(要チケット) ※1人2枚まで

チケット配付開始／3月23日(日) 9:00～(パレア若狭窓口)

案内

パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

ヤマハ音楽教室

■ピアノとエレクトーンの楽しくかっこいい演奏を発表します。これまでたくさん練習してきた成果を出せるよう、一生懸命演奏します。ぜひ、お越しください。

開催日／ **4月13日(日)**

入場料／無料

案内

株式会社創楽堂 Tel: 0770-52-1313

親子映画上映会

■小さなお子さまに向けた映画館デビュープログラム上映会です。親子一緒に大きなスクリーンでミニオンをお楽しみください。

開催日／ **5月25日(日)**

時間／開演 10:00 開場 9:30

作品／怪盗グルーのミニオン超変身

発売日／4月5日(土) 窓口 9:00～ 電話・WEB 13:00～

料金／一律 500円(全席指定)

※2歳以下膝上無料(席が必要な場合は有料)

※販売席数 300席



(C) 2024 Universal Studios. All Rights Reserved.

案内

パレア文化課 Tel: 0770-62-2508

Darea パレア若狭 ギャラリー

第20回膳湖書道会書作展

■若狭町の書道愛好会で作る「膳湖書道会」の第20回書作展です。色紙サイズから、横二六、縦二八の大きなものまで多様な作品が展示されます。個性の光る書作展をぜひご鑑賞ください。

展示期間／ **4月26日(土)～5月10日(土)**

※火曜日休館

時間／9:00～20:00 ※最終日は16:00まで



案内

膳湖書道会 Tel: 090-4681-1029

アトリエワッカ ～心豊に健やかに暮らしの中の創作や手仕事～

■【絵本とおいしい工作 vol.2】

『おひさまパンのパンづくりと、はるのそらをえがくいろあそび』
絵本「おひさまパン」に登場するおひさまの形をしたパンをオープン天板1枚分に大きく作ります。焼き上がりの待ち時間に春の空を描く色遊び（水彩のにじみ絵）を行います。

日時／**4月20日（日）** 13:00～16:00

場所／パレア若狭 キッチンスタジオ・和室

対象／幼児～小学生の親子

定員／8組

参加料／2,200円～ ※参加人数によって変動します

- ・パン作り 1,000円（1家族）
- ・春のにじみ絵 700円（水彩紙ボード、画用紙、絵の具給皿筆貸出など）（1名分）
- ・受講料 500円

講師／yachimi パン 谷地田 美由紀、こどもアトリエ トット



にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館こどもひろばにて、毎月第4土曜日午前11時に紙芝居をしています。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日／**4月26日（土）**

時間／11:00～

場所／図書館リブラ館 こどもひろば

内容／ボランティア「にじいろ」による紙芝居

料金／無料

図書館からのオススメ本

『目には目を』

新川 帆立／著

重い罪を犯して少年院で出会った6人。彼らは更生して社会に戻り、二度と会うことはないはずだった。だが、少年Bが密告をしたことで、娘を殺された遺族が少年Aの居場所を見つけ殺害に至る。かつての少年6人のうち誰が被害者で、誰が密告者なのか？



案内 パレア文化課 Tel：0770-62-2508

パレア若狭ボランティアスタッフ（パボス）募集

■パレア若狭で開催される催物の運営などのお手伝いをしていただけるボランティアスタッフ（パボス）を募集しています。高校生以上ならどなたでも結構です。

ボランティアが初めての方でも大丈夫。楽しく元気なパレアをみんなで創りましょう！



▲詳細はこちら

■活動内容

- ・ホールスタッフ…音楽ホール公演における来場者の接客など
- ・図書館スタッフ…図書資料の整理、イベント補助など

■対象

高校生以上

※パボス登録票をご記入の上、パレア文化課窓口にご提出ください。

案内 パレア文化課 Tel：0770-62-2508

パレア若狭内のキッズスペースはリニューアル工事のため、次の期間利用できません。

工事期間／

令和6年11月24日（日）～ 令和7年9月30日（火）

※図書館やジムなど、その他の施設は利用可能です。

■パレア若狭では、公式 Instagram アカウント (@pareawakasa) を開設しています。

イベント情報やお知らせを随時投稿していますので、ぜひフォローをお願いします。



▲フォローはこちらから

案内 パレア文化課 Tel：0770-62-2508